

シールドのコンクリートセグメント等
ボルトボックス充填用高性能モルタル

TJ Attack

モルボックス HM-1000
モルボックス KM-2000

用途

- ①セグメント継ぎ手ボルトボックス充填用。
- ②建築構造物の欠損部処理等。
- ③モルボックス HM-1000 高強度タイプは、耐摩耗性が要求される壁面・底板部等
- ④モルボックス KM-2000 軽量タイプは、施工性を考慮して天井部等

特長

- ①モルボックスは水で練り混ぜるだけのプレミックスタイプです。
- ②厚く付けても施工時にタレやズレが生じない、優れた施工性を持っています。
- ③従来3~4回に分けて充填する必要があるボルトボックスに、1~2回程度で充填できます。
- ④無収縮性が高いためセグメントとの間に隙間が生じることなく、優れた接着性や耐水性を発揮します。
- ⑤施工性、接着性、耐水性、強度特性など全てにおいて、過去に無い高性能を発揮いたします。

使用方法

- ①施工するコンクリート表面を入念に清掃する。
- ②ボルトボックス内にテックス7を噴霧器にて規定量 100~200g/m²塗布する。
- ③練り混ぜた材料をゴム手袋で内面を擦りつけながら手詰めに充填し金ごてにて平滑に仕上げる。
- ④コテ仕上げ後の養生は適切な処置を行って下さい。

荷姿



- HM-1000 高強度タイプ
粉体(防湿袋入り)・・・ 25kg



- KM-2000 軽量タイプ
粉体(防湿袋入り)・・・ 20kg



- テックス7
(プライマー：缶入り)・・・18kg

使用上の注意事項

- ①本製品の取扱いは、セメントに準じて行って下さい。
- ②破袋または開封後、放置した製品は用いないで下さい。
- ③練り混ぜ水は、飲料水または上水道水を用いてください。
- ④本製品が皮膚に触れたりした場合は、セメントと同様に処置してください。

取扱いに関する詳細な注意事項は、製品安全データシート (MSDS) をご参照下さい。

標準仕様

1袋当たりの標準練り上がり量				標準使用量	可使時間
材料名	粉体 (kg)	配合比 (質量)	練り上がり量 (ℓ/袋)	1 m ³ 当りの使用量 (kg/m ³)	(20)
モルボックス HM-1000	25	粉体/水 = 25/3.75	13.4	1,866 (約 75袋)	50分
モルボックス KM-2000	20	粉体/水 = 20/6.00	16.4	1,221 (約 61袋)	50分

モルボックスの物性と性能

項 目	試験値		試験方法	
	モルボックス HM-1000 高強度タイプ	モルボックス KM-2000 軽量タイプ		
単位容積質量 (kg/m ³)	2,146	1,587	JIS A 1116	
曲げ強さ (N/mm ²)	材齢 1日	5.12	JIS R 5201	
	材齢 3日	7.27		
	材齢 7日	8.87		
	材齢 28日	9.84		
圧縮強さ (N/mm ²)	材齢 1日	19.4	JIS R 5201	
	材齢 3日	40.2		
	材齢 7日	49.1		
	材齢 28日	61.9		
付着強さ (N/mm ²)	材齢 28日	2.46	1.71	建研式接着力試験器による
耐ひび割れ性	異常なし	異常なし	JIS A 6916	

テクノスジャパン株式会社

本 社 / 〒673-0028 兵庫県明石市硯町 3 丁目 4 番 7 号
東京支店 / 〒130-0012 東京都墨田区太平 3 丁目 11 番 10 号

TEL (078) 924-1234 (代) FAX (078) 924-0050
TEL (03) 3623-4433 (代) FAX (03) 5608-3812

<http://www.technosjapan.com>